

資料名

～家族愛・家庭生活の充実～

「ぼくの生まれた日」

教科書出版社 (一)

○ 小学校 (2年) 教科等 (特別な教科 道徳)

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

(教科等で付けたい力)

・父母・祖父母を敬愛し、家族の役に立つ喜びを知る。

(学校図書館等の活用で付けたい力)

・登場人物の心情の変化を、漫画のセリフ、場面の移り変わりから読み取る。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

●情報収集…漫画を用いて場面設定、登場人物、物語の山場などを理解する。

●整理・分析…登場人物の心情の変化を読み取り、自分だったらどうするのかを考える。

●まとめ・表現・発信…物語を読んで登場人物の心情の変化に気づき、自分だったらどうするか、自分は今後どうするのかなどを考え、交流する。

学習の展開 (全1時間) 学校図書館等を活用した時間は☆印

第1次 (☆)

① 自分は両親から嫌われていると思い込んでいたのび太が、父母の思いを知り、自分を変えようと頑張る様子を読み取り、父母を大切にすることを養う

(本時 1 / 1 時)

☆学校図書館等活用(本時)の学習

本時のねらい
・自分は両親から嫌われていると思い込んでいたのび太が、父母の思いを知り、自分を変えようと頑張る様子を読み取り、父母を大切にすることを養う

学習展開

時間(分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 漫画の最後の1コマを見てなぜ、一生懸命勉強しているのか、理由を考える。	・「僕の生まれた日」の最後の1コマを見せ、一生懸命勉強している理由を考えさせる。
お話を読んで、おうちの人のお気持ちを考えてみよう。		
30	2. 「ぼくの生まれた日」(ドラえもん 2巻 てんとう虫コミックス)を読む。 ・なぜ、のび太は「僕は本当の子どもじゃない」と言ったのか考える。 ・過去ののび太のパパが、怒っている理由を考える。 ・なぜ、のび太が急に勉強を始めてのかを考える。	・漫画を読みこなしていない児童もいるので、読む速さに気を付ける。 ・家族に怒られた経験についても聞き、のび太の気持ちに共感させる。 ・子どもを大切に思う親の気持ちに気付かせる。
10	3. 家族の人のためにしてみたいことについて考える。 ・家族の役に立ちたい、期待にこたえたいなど、のび太の気持ちを考え、交流する。	

